

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート vol.16

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(勾坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 44歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有) 勾坂量店入社
07年逗子市商工会青年部部長・08,09年沼間小PTA会長・08年逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(高校1年)次女(小学4年)長男(小学2年) 2010年3月に行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員長、基地対策特別委員長
現在、2期目 総務常任委員長、都市計画審議会委員 所属会派 市政クラブ

平成26年 第3回定例会(決算議会)報告

第3回定例会が9月2日～26日に行われました。

今回の定例会では、「25年度一般会計、4特別会計

歳入歳出決算の認定」の議案が上程され、可決されました。その他の主な議案は、国の子ども・子育て支援法に基づいた条例制定として、逗子市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について、逗子市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について、また、家庭ごみ処理の有料化を導入に向け、逗子市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例及び逗子市証紙条例の一部改正について審議されました。25年度一般会計補正予算では、庁舎用地に市営駐輪場整備が提案されましたが、減額(4,320万円)修正されました。

(1) 財政状況

健全な財政運営の原則である収支の均衡及び財政構造の弾力性についての比率の推移

財務比率の推移

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
平成25年度	7.5%	97.4%	8.7%	0.851
平成24年度	8.1%	97.1%	9.2%	0.852
平成23年度	7.5%	98.9%	9.6%	0.876

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。一般的には3～5%が望ましいとされている。

経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。

一般的には70～80%が望ましいとされている。

公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。

一般的には10%以内が望ましいとされている。

財政力指数：財政上の能力を示す指数。この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

(2) 市債状況

平成25年度の市債借入額は38億7,890万円で、平成25年度末借入残高は241億387万1,857円となっています。一般会計の市債借入額は35億5,210万円で、平成25年度末借入残高は191億7,775万294円となり、前年度末借入残高より11.6%の増となっています。また、下水道事業特別会計の市債借入額3億2,680万円で、平成25年度末借入残高は49億2,612万1,563円となり、前年度末借入残高6.4%の減となっています。一般会計、特別会計の市債残高を合わせると、241億387万1,857円です。市民一人あたりの借金は約40万円にもなります。

家庭ごみ処理の有料化導入へ

本市の最終処分場の残余年数は2年を切り、今年度から焼却灰を外部搬出しており、燃えるごみの処理に毎年約1億5千万円の経費がかかっています。ごみの減量化、資源化を進めるためのゴミの有料化は一定理解するところです。今定例会で家庭ごみ処理の有料化に伴う条例の改正案が審議されました。条例案では、減免措置の対象者については、生活保護受給世帯と災害によるごみの搬入をする場合でしたが、生活弱者等への経済的負担軽減が必要として、減免措置を拡大する修正案が提出され、私も賛同しました。



リフォーム助成制度～継続の声～

平成23年の定例会において、一般質問で取り上げ、リフォーム助成制度創設を提案しました。平成24年度から地域経済の活性化及び良好な住環境の向上の促進を図る目的として、市民が市内施工業者により住宅のリフォームを行う場合に、その経費の一部を助成する事業として実施してきました。今年度が最終年度となります。これまでの実績として、工事費総額は、1億円を超えていて、毎年、助成金も開始から半年位でなくなる状況です。とても市民ニーズも高い事業であります。来年、消費税10%へ増税が予想されることもあり、依然厳しい地域の経済状況が続くと考えます。リフォーム助成制度を来年度以降も継続していくべきと市長に要望しているところです。

若い世代の移住・定住の促進策

本市の財政状況は、市税収入の減少、高齢化に伴う扶助費増加が見込まれるために、これからも厳しくなります。10年後の平成36年度の市税収入は26年度と比較すると、約8億3千万円も減少する試算がでています。行政サービスの低下をさせないためにも、人口減少を防ぎ、人口の現状維持をしなければ考えます。市としては、子育てしたいまちという重点プロジェクトの位置付けの中で、教育環境の充実、子育て支援策の充実に取り組んでいくことで、移住・定住を促進する方針ですが、それらをしっかりと発信しなければ、移住・定住の促進にはつながりません。今後、市内、市外へシティセールスをしていくべきと考えます。

学童保育の充実～待機児童対策～

現在、市内の学童保育は、5小学校区すべてに公設化され、指定管理者制度のもとに運営しています。近年、利用児童数は年々増加し、27年度からは待機児童がでると予測されています。今年度までは待機児童を作らない方針だったために、想定人数を超える児童が過ごしています。担当の話では、児童が必ずしも毎日利用するわけではないので、1日の利用数は、想定数をそれ程、超えていないということですが、かなり部屋が狭い状況のようです。空き教室の流用等、待機児童対策を早期に検討するように担当所管に要望しました。



**皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。**

御名前

御住所

連絡先